

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年12月26日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	都城市 (45202)
地域名 (地域内農業集落名)	笛水 (椎屋、後平、竹元、崎山)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	146.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	139.7 ha
② 田の面積	38.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	101.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha

(2) 地域農業の現状及び課題

【地域の状況】

- ・当地区は、全域に山林が広がっており、山間部に田畠が点在している。
- ・山間部の条件の悪い農地を中心に耕作放棄地がみられる。
- ・笛水より、他の地区のほうが農地の条件が良いため、耕作者の流出を招いている。
- ・農地が必要なのは和牛繁殖と露地園芸で、笛水には農地を必要としないブロイラー農家も多い。

【人口減少・高齢化】

- ・農地の貸付け等の意向はかなり多いが、地区内に規模拡大意向がある農業者はほとんどいない。
- ・地区内に後継者がほとんどおらず、農地を託す先もいないため、耕作放棄地の増加が懸念される。
- ・農地の保全のためには新たな農地の受け手の確保が必要である。

【鳥獣被害】

- ・鳥獣被害が多く、また、山間部においては日照条件が悪く、作物の収穫量が見込めないため、耕作意欲の低下に繋がっている。
- ・作物を選ばないと、イノシシの食害を受ける。
- ・タマネギ等が、サルによる被害を受ける。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・水田を活用した普通作物(主食用米、加工用米、飼料用米)を主要作物としつつ、園芸作物(きゅうり、甘藷、さといも、ごぼう、花卉、くり)や飼料作物(牧草)等の団地を形成する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

- ・農地中間管理機構への貸付を進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本とする。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	12.5 %	将来の目標とする集積率	25 %
--------	--------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

- ・既存の担い手が地区外の耕作地を地区内に集積・集約化することや、地区外の認定農業者、新規就農者等の受け入れを行うことで農地利用の集積・集約化を促進する。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

- ・将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は原則として、農地を農地中間管理機構に貸し付けていく。

(2)農地中間管理機構の活用方法

- ・担い手が営農の継続が困難になった場合は、農地中間管理機構を通じて、別の担い手への貸付けを進めていく。

(3)基盤整備事業への取組

- ・元々の圃場の区画が狭いため、基盤整備を行うと農道が広くなる分、圃場がさらに狭くなるため取り組む予定はない。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

- ・近隣自治体の大型法人(S農園、M園芸(ゴボウ、枝豆)等)の受け入れ拡大を検討する。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

- ・作業の効率化が期待できる作業は委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畠地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害防止対策

- ・被害状況を把握し、侵入防止柵や檻の設置等を検討して、被害防止対策に取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

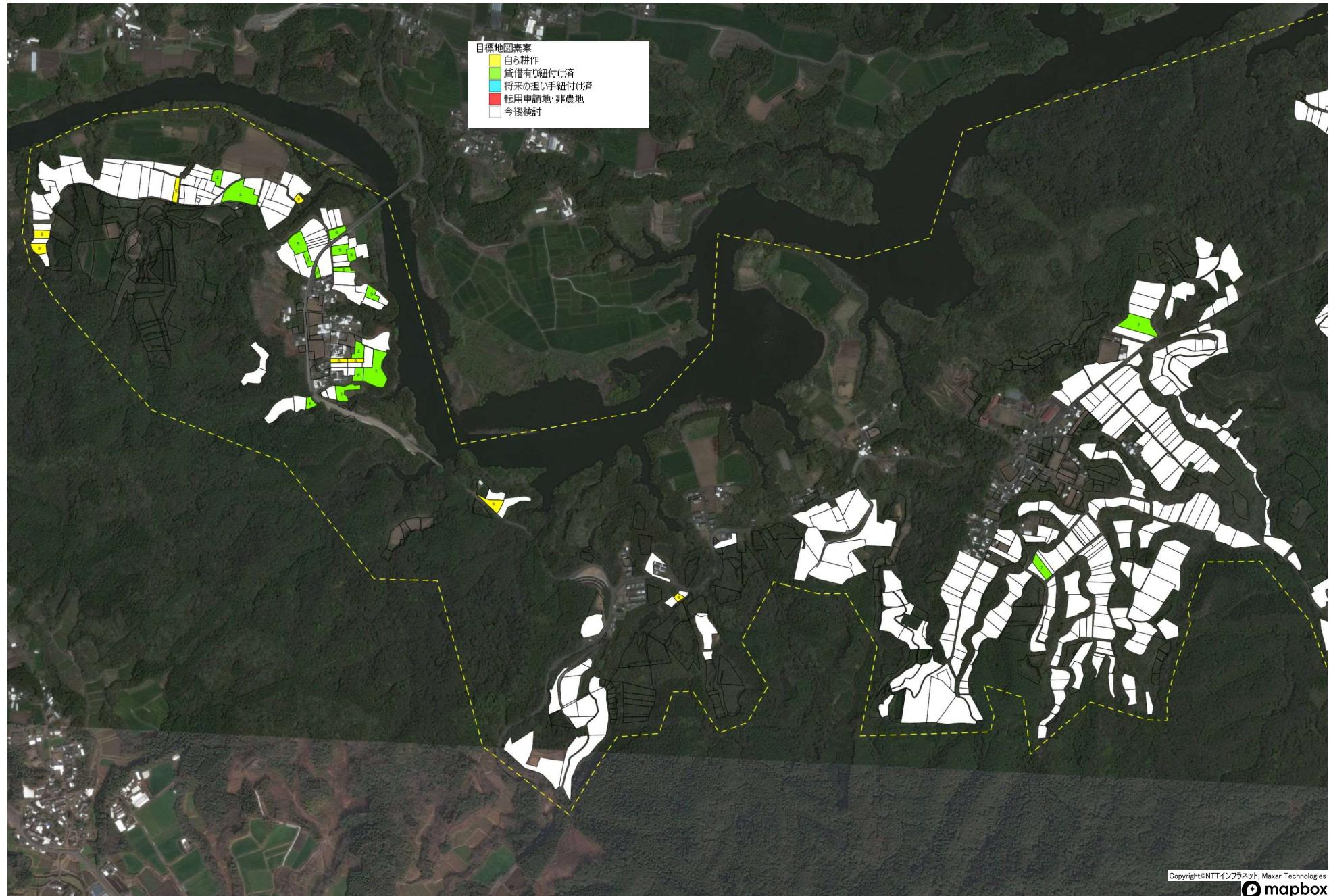
属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上での表示	備考
到達		肉用牛繁殖複合	2.07 ha	ha	肉用牛繁殖複合	1.33 ha	ha	1	
到達		養鶏(ブロイラー)複合	1.27 ha	ha	養鶏(ブロイラー)複合	1.27 ha	ha	2	
利用者		水稻	1.07 ha	ha	水稻	1.07 ha	ha	3	
認農		肉用牛繁殖複合	2.76 ha	ha	肉用牛繁殖複合	0.67 ha	ha	4	
利用者		露地園芸	0.63 ha	ha	露地園芸	0.63 ha	ha	5	
認農		肉用牛繁殖複合	0.54 ha	ha	肉用牛繁殖複合	0.54 ha	ha	6	
利用者		水稻	0.52 ha	ha	水稻	0.52 ha	ha	7	
到達		養鶏(ブロイラー)複合	1.60 ha	ha	養鶏(ブロイラー)複合	0.51 ha	ha	8	
利用者		和牛生産複合	0.47 ha	ha	和牛生産複合	0.41 ha	ha	9	
認農		養豚一貫複合	0.26 ha	ha	養豚一貫複合	0.26 ha	ha	10	
到達		水稻	2.55 ha	ha	水稻	0.24 ha	ha	11	
認農		養鶏(ブロイラー)複合	3.44 ha	ha	養鶏(ブロイラー)複合	0.21 ha	ha	12	
到達		工芸作物複合	2.68 ha	ha	工芸作物複合	0.20 ha	ha	13	
利用者		露地園芸	0.17 ha	ha	露地園芸	0.17 ha	ha	14	
認農		養鶏(ブロイラー)専業	0.26 ha	ha	養鶏(ブロイラー)専業	0.14 ha	ha	15	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	15経営体		20.28 ha	0 ha		8.16 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

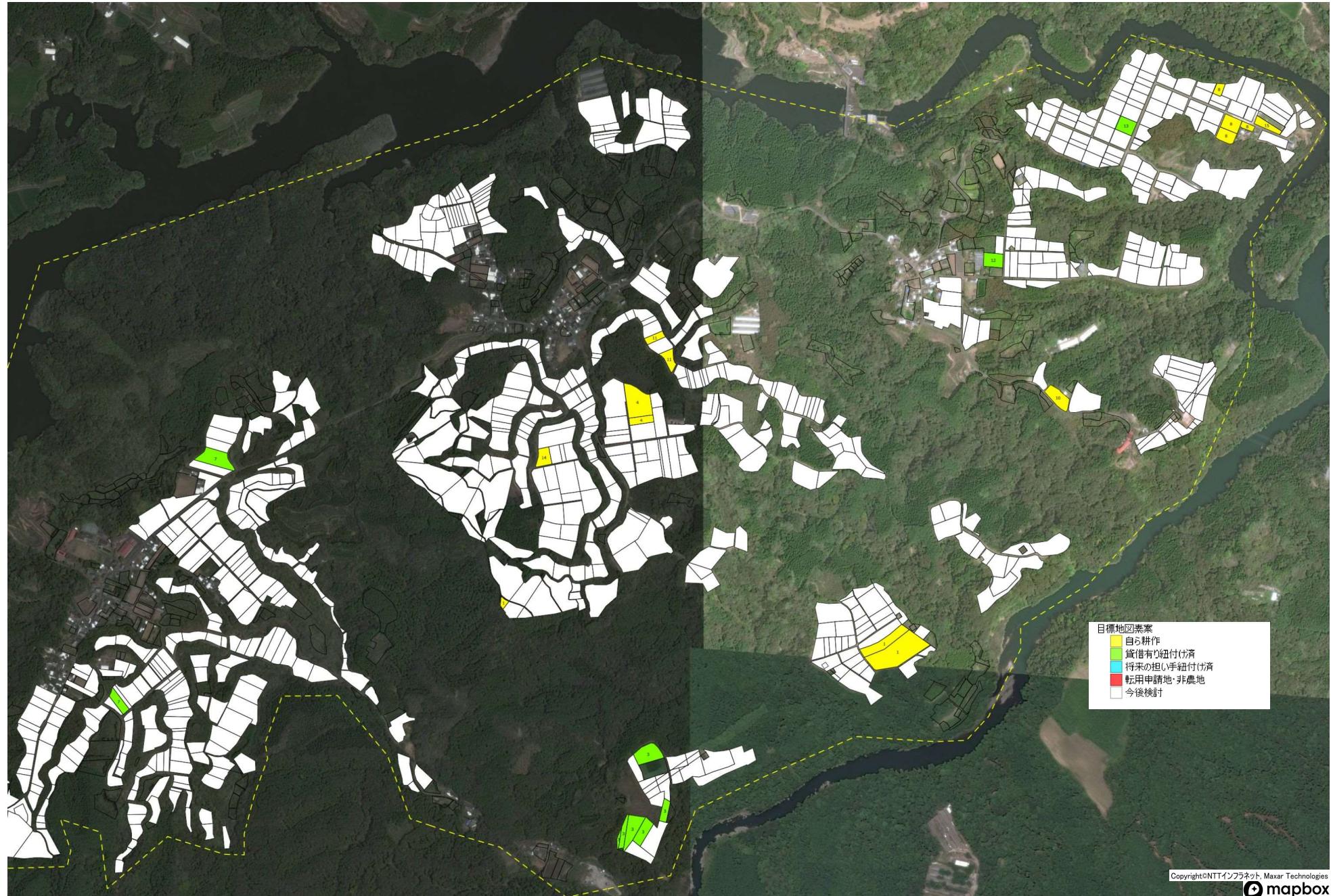
番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

R7年度 笛水地区 目標地図①



R7年度 笛水地区 目標地図②



R7年度 笛水地区 目標地図 全体図

